

<がん哲学外来> お茶の水メディカル・カフェ in OCC

新島 襄 生誕 170 周年記念

メディカル・カフェ

2013年 9月 21 日(土)

時間：13:00～（開場 12:30）

会場：お茶の水クリスチャン・センター 8階チャペル

入場無料

※会場に自由献金箱が用意されています。
献金にご協力ください。

要申込み

※WebサイトまたはFAXにて。
必ずお申込みください。



樋野 興夫
順天堂大学医学部教授
NPO がん哲学外来理事長

今年は、山極勝三郎（1863-1930）生誕 150 周年・吉田富三（1903-1973）生誕 110 周年、新島襄（1843-1890）生誕 170 周年、新渡戸稲造（1862-1933）没 80 周年記念の年です。「先人の会話の立ち書き」を旨とする「病理学者」としての、「社会をよく見て、「がん」から学んだものを生かす=社会性（ソーシアリティ）」（新渡戸稲造）の心得であります。

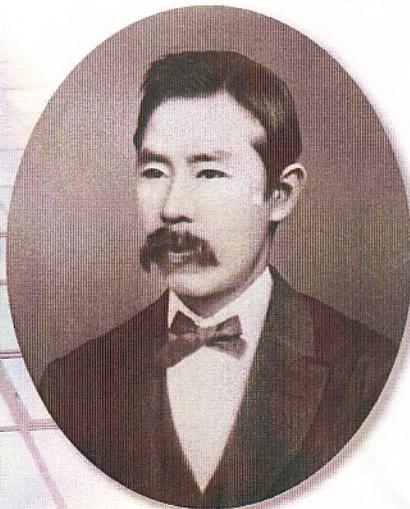
最近、「新島襄 → クラーク（1826-1886）→ 内村鑑三（1861-1930）・新渡戸稲造（1862-1933）→ 南原繁（1889-1974）・矢内原忠雄（1893-1961）→ がん哲学の本流ですね！」との、心温かい、ニューモア感のある、激励のコメントをいただきました。大変、微笑ましく、なんとなく嬉しさが込み上げてきました。改めて、NHK 大河ドラマ「八重の桜」の主人公 八重の夫：新島襄の「本流の源流の先見性」を静思したことでした。

ここに、新島襄生誕 170 周年記念 メディカル・カフェを企画することになりました。是非皆様お誘いあわせてご来会ください。お会いできることを楽しみにしています。樋野 興夫



がん哲学外来
Cancer Philosophy Clinic
お茶の水メディカル・カフェ
Ochanomizu Medical Cafe

主催：お茶の水クリスチャン・センター
〒101-0062 千代田区神田駿河台 2-1 OCC ビル Tel 03-3296-1001



新島 襄

<司馬遼太郎講演集より>

「アメリカ留学の頃、卒業した彼が、アメリカ東部のあるプロテスタント教会に通っていた教会で、説教をしたことがあった。『自分は日本をアメリカのような国にしたい。そのためには、日本に帰って、キリスト教精神に根ざした学校を作りたい。』と語ったそうです。すると、会衆は、彼のビジョンに答えて、目の前で募金が始まった。

最後に募金したひとりの農夫にいたっては、わずか 2 ドルだった。その農夫は汽車で一時間ほどかかる田舎から出て来た人であった。実は、彼がささげた 2 ドルは、帰りの汽車賃だった。帰りは歩くのだというのだった。こういう祈りと献金から同志社大学は始まり、今日がある。



総合司会：上田 寛
ワールドビジョン・ジャパン理事長
お茶の水クリスチャン・センター副理事長

※ 参加のお申込みは、
Web サイトまたは FAX にて。

Web サイト：
<http://ochanomizu.cc>

FAX：裏面に記入して、こちらに FAX ください。

FAX : 03-3296-1010